

**2026 年冬 TC 技術検定 2 級使用情報制作ディレクション[DR] 実技試験の出題意図**

ディレクション試験の実技問題は、「担当と工数管理」、「目次構成」、「制作ツールの評価」、「要件事項の分類」の 4 課題が出題された。問題形式は、計算、選択式が多く、記述は項目や指摘を記載するものであった。ただし、選択は解答欄が多いこと、難易度の異なる課題が取り混ぜて出題されているので、時間の配分に注意が必要である。また、学科問題では出題できない応用力が問われているので、直観や記憶力ではなく実務経験が必要なものばかりである。

**【課題 1】**

スマートホームデバイスというコンシューマ向け製品のユーザーガイド 2 分冊の制作が題材。担当者の選択と生産性を考慮した日数（工数）計算が題材。分冊別に、工程ごとの担当と作業量、が提示され、生産性の最も高い場合の日数計算、作業終了までの日数を計算する。最後に、2 分冊を合わせて、工程の着手条件の関係を見て、必要日数を計算する。印刷媒体と Web 公開の違いはあるものの、工程の着手条件で平行作業が可能な日数の長いほうをとることと、計算間違いをしなければ解答はできる。

**【課題 2】**

ワイヤレスイヤホンの取扱説明書作成において収集した情報の分類が題材。購入者・利用者に関するもの、製品仕様や使い方に関するもの、市場や販売方法に関するもの、法令・規格に関するもの、などに分類する。情報のとらえ方によって、どちらに分類するか迷うものもあるが、各情報を読み込み、立場を考えると解答できる。

**【課題 3】**

アウトドアなどで使われるアクションカメラの Web ページ、取扱説明書、販売用パンフレットの 3 媒体の見直しが題材。販売促進のための販売形態の変更に伴う 3 媒体の見直し箇所の指摘を行う。ユーザーからの問い合わせ窓口にもっと多く寄せられた項目について、2 媒体の見直し箇所の指摘を行う。最後に安全表記に関して販売会社からの要望に追加事項を記載する。どれも、実際にあり得る内容で、与えられた情報を比較すれば解答できる。

**【課題 4】**

レストランチェーンで使われる業務マニュアルの配信用システム化が題材。2 社の仕様とヒアリングから、契約形態、サーバー形態、導入費用やランニングコスト、ストレージ容量、編集機能などの観点を比較し、検討表にまとめる。まず、指定された年数でのトータルコストを計算する。次に、指定された検討項目を、カタログの仕様とヒアリングから抽出して表に記載する。比較してどちらを選択するかといった判断はないので、情報を読み込めば解答できる。

**2026 年冬 TC 技術検定 2 級使用情報制作実務[MP] 実技試験の出題意図**

制作実務試験の実技は、「情報整理と表の作成」「フローチャートの作成」「媒体別の目次構成案」「表現設計と図の校正」の4課題で、「フローチャートの作成」を除くと過去に出題されたものの改題であった。問題形式は、表作成、作図、目次構成、校正と、制作実務に欠かせないスキルが含まれていた。表や作図では、問題文の情報量が多いわりに解答欄が少ない。一つ一つに配点が多いので、小さな間違いが致命的な減点になる可能性がある。学科問題では出題できない、複数情報の関係、表現力、応用力が問われているので、記憶力ではなく実務経験が必要なものばかりである。

**【課題 1】**

卓上ファンの仕様からポスター用の情報を作ることが題材。複数の資料（仕様表）から、ポスターに掲載する3種の型番の性能表を抽出して表にする問題。ファンの筐体、駆動部、羽根などの部品仕様から、組み合わせ可能なものを選び、それぞれの部品コードで型名を作る。表は表側と表頭に何を記載するか指定されているので、まずはそれらで表の形を作り、あとは仕様値を入れる。組み合わせ可能な部品がわかれば、ルールに従って記述すれば解答はできる。

**【課題 2】**

グループメールの作成や変更の申請を行うシステムのフローチャートが題材。申請手順を読み、フローチャートの作成条件に従ってつなげていく。開始から2ステップ目までと終了はあらかじめ書かれているので、その間を埋めればいい。ポイントは、申請の種類でステップが3つに分岐することで、それぞれの処理の後、終了につながるようにする。フローチャートというと情報処理の専門的なスキルのように思えるが、実際は業務フローや作業フローなど、さまざまな場面で使われている。まずは、システムの操作をイメージして、分岐に気づけば解答できる。

**【課題 3】**

クラウドサービスのヘルプトピックから小冊子を作成することが題材。まずは、Webサイトのトピック構成と、小冊子の目次構成が並んでいるので、目次の見出しをルールに従って作る。さらに、トピックと見出しから、索引作成のルールに従って、索引用語を書き出す。冊子制作の最初と最後の工程で、2つを見比べれば解答できる。

**【課題 4】**

テクニカルイラスト作成仕様書の校正が題材。顧客の要望をまとめたサンプルページで、間違いの指摘（校正）と、図の引き出し線のつけ方を実際に書き込む。また、イラストの描き方（図法）のサンプルから、顧客の要望に合ったものを選択する。顧客の要望とサンプルページの違いを見つけ訂正することと、引き出し線の書き方はルールに従えば解答できる。